



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.4.5 No. 4372

米軍用地強制使用許すな！ 4代々木公園 日米安保再定義粉碎！ 16代々木公園

全ての組合員の皆さん！
「沖繩から訴える！土地の強制使用を許さない！四・一六東京集会」への全力結集を訴えます。

四・一、怒りの声に包まれた「象のオリ」

四月一日、米軍に強制使用されていた知花昌一さん所有の土地の期限切れ「不法占拠」状態を糾弾し、所有地への立ち入りを求める闘いは、知花さんの家族を先頭に反戦地主会、違憲共闘会議、一坪反戦地主会、沖繩の労働団体、全国から結集した労働団体・市民団体など、一〇〇〇名を超える人民が「象のオリ」を取り囲み、「不法占拠弾劾！」、「土地への立ち入り認めろ」という怒りの声が渦巻き、その怒りは全国に発せられた。

アジアの権益をめぐる日米がしのぎを削ぐ

この怒りが渦巻く中、四月六日、米大統領・クリントンが来日する。今回の来日は、日米安保の再定義＝大改定という、今後の沖繩と日本の運命を決定づける重要な問題が中心となっている。

今回の日米首脳会談では、①日米安保再定義＝大改定が強行されようとしていること。

②沖繩の米軍基地の「整理・縮小」が報道される中、実際は永続的な使用を狙っていること。

③そして、今年秋の米大統領選挙に向けて、沖繩問題の解決

と日米安保の安定を獲得したいという狙いがある。

とくに、米帝にとつては、アジア地域(朝鮮、中国、太平洋・中東地域)における米帝の権益をさらに強化するための東アジア一〇万人、在日米軍四・七万人体制(事実上の沖繩米軍基地の永久化を意味している)を維持するために、今回の日米安保再定義はまさに必要不可欠の課題となっている。

沖繩の一〇万決起に続き 本土労働者の一大決起を

しかし、昨年一〇月二一日、沖繩での一〇万人決起によってクリントン来日が破産したように、労働者・人民の闘いによって安保・沖繩闘争勝利、基地全面返還は実現不可能ではなくなっているのである。

沖繩の反戦地主会・違憲共闘会議・一坪反戦地主会は、四・一五(大阪)・一六(東京)の代表団派遣を決定している。

次は、われわれ本土労働者の闘いである。

沖繩の熱い怒りの声に応え、安保・沖繩闘争勝利！日米首脳会談粉碎！安保再定義＝大改定阻止！沖繩米軍基地の永久化攻撃粉碎！日帝のアジア再侵略阻止へ、全支部から全力で代々木公園に結集しよう！

知花さんに土地を返せ！



沖繩一本土貫入三千名の結集

基地も安保もいらぬ！三・三一集会開催 (日比谷野音)

三月三十一日、東京・日比谷野音において三〇〇〇名をこえる参加で「すべての軍用地に花を、基地も安保もいらぬ三・三一集会」が開催された。

この集会は四月一日、期限切れを迎えた米軍用地の契約拒否を表明している知花昌一さんの沖繩現地での闘いと固く連帯し

て行なわれた。

集会で発言に立った違憲共闘会議議長であり反戦地主の有銘政夫氏は、「今日の零時には、戦後五〇年間我がもの顔に居座っていた米軍基地が法的に解放される。この日は沖繩戦で米軍が読谷村に上陸した歴史的な日である」と訴え、「米軍に管理権があるというが、それなら五〇年前の占領に逆戻りすることを意味する」と政府の不法占拠の弁解を一つ一つ喝破した。また、「すべての米軍基地をのしを付けて返す」と安保の再定義に抗議した。さらに四・一五・一六を沖繩の八万五千の島ぐるみ闘争に連帯する闘いにしよう」と大結集を訴えた。

電話で会場とつながった知花さんは、「沖繩の基地に反対してきた人の声がこの空白を作り出した。勝利だと思う。」と訴えた。その他島唄などをほさみ、各市民団体等から発言が行なわれ、都心をデモした。四・一六代々木公園に総決起しよう！



沖繩から訴える！土地の強制使用を許さない

四・一六東京集会

●四月一六日(火) 一八時(指行列車)

●東京・代々木公園(原宿駅より徒歩五分)

●第一陣 千葉駅五番線 一六時二四分発快速

●第二陣 千葉駅八番線 一七時二五分発(津田沼発一七時三九分)